



きらり★きくにし

文責 校長 佐藤 正貴

本年度の学校教育目標

菊陽大好き 共に学び・支え合い 未来を切り拓きながら 自分を磨き続ける児童の育成

- 菊陽大好き…郷土への愛着、誇り、貢献心など、故郷で力を発揮できる児童の育成
- 共に学び・支え合う…他者との協力・協働で自分の内面を磨き続ける児童の育成
- 未来を切り拓く…ひと・もの・ことに出会う中で物事に挑戦したり、学びを継続したりできる児童の育成

本年度の教育目標には、自分自身の内面を磨き、光り輝かせてほしいという思いを込めています。「学校は何をするところなのか」という問い合わせに対して、児童の答えは大よそ「勉強するところ」にまとめられます。大正解です。では「何のために勉強するのか」という問い合わせに対してはどうでしょう。目先のことを見ている児童もいれば将来を見ている児童もあります。答えは多岐に渡っていきます。例え答えが多岐に渡っても、児童の答えはどれも正解です。その多岐に渡る答えの中に共通するものがあると私は考えています。何かというと「人とのかかわり」です。対人関係のスキル、コミュニケーションの能力は一朝一夕に獲得できるものではないと思っています。学校では、様々な「ひと・もの・こと」と出会います。そこで自分の考えや思いを他者に伝えたり、共有したりする中で、互いに高め合っていくことになると思います。しかし、時には壁に跳ね返される、他者との関係がこじれたりすることもあります。自分の思い通りに物事が進まないことなどは日常茶飯事です。そんな時、周りに失敗の原因を求めるのではなく、自分自身の言動を見つめ直す、振り返る、自分自身を律する気持ち、我慢する心、他者の意見を受け止めてから考える、自分の思考を適切な言葉で表現するなど、自己の内面を見つめ直す力が付いていけば、周りと豊かな関係を築いていくことができるのではないかでしょうか。そして他者に対して思いを馳せることができる力は、自分の幸せな人生に直結するはずです。人と豊かに関わることで幸せな人生となるように、自分自身の内面を磨き続けることができる学校でありたいと思っています。

運動会の練習が始まりました。



運動会の結団式が、5月12日（火）の1校時に行われました。6年生の応援団が、今年の目標などをしっかりと下級生に伝えていました。今日の結団式に向けて、担任にアドバイスをもらいながら主体的に動こうとしていました。まだまだ十分とは言えませんが、運動会をとおして最上級生としての自覚が育ち、行動が変わってくる場面が運動会です。当日が楽しみです。



運動会のテーマ【代表委員会にて】

今年の運動会のテーマは「一人ひとりが笑顔で楽しく 思い出に残る運動会」です。各学級から出されたテーマについて議論しながら、よりよいテーマを設定していく会議でした。進行に不慣れな面はありましたが、よりよいテーマにしていく話し合いで、活発に意見をだしていました。さすが、西小の児童です！

自分の命を守るのはだれなのか？

先日、菊陽町の児童が命を落とすという痛ましい事故が起きました。本校でも月曜日に臨時の全校集会を行いました。朝や帰りの様子、自転車の乗り方を踏まえて気づいたことを中心に話をしました。横断歩道を渡らない、信号や左右を自分で確認しない、ヘルメットをかぶらない等、事故で命を落としかねない状況であることを伝えました。交通ルールやきまりは、命を守るためにあります。しかし、そのルールに基づいて命を守る行動は、本人の意識次第です。自分自身の命を守るために必要な行動について、ご家庭でも話をしていただけたらと思います。